



熊本市立大江小学校

# ときめき

2022.12.22(木)

No.132



文責  
松永

## 授業の様子をお伝えします！～研究授業の報告です～

2学期後半も、熊本市教育センター研究モデル校として取り組んでいる、道徳科と特別活動（学級活動）の研究授業が行われました。当日の授業公開に向けて、授業を担当する先生を中心に、学年部で授業の流れについて話し合ったり、資料の準備をしたりしながら授業づくりが進められます。参観する側も、他の学級の授業を参観することで、学ぶことがいっぱいあります。11月10日（木）には、道徳の授業が2年3組の松尾学級で、学級活動の授業が3年4組の永野学級で、12月13日（火）には、2年1組の中島学級で、学級活動の授業が公開されました。いずれの授業も、いきいきと学びに向かう子どもの姿がありました。



松尾学級の道徳は、「わりこみ」という教材を使って、よいと思ったことをした時にどんな気持ちになるかを考えました。役割演技を取り入れることで、実際に役割の動きの体験を通してどういった気持ちになるか？を聞いてみたら「よいことをしたらすっきりした」「きちんと言えてよかった」と自分の言葉で伝えることができました。自分のことだけでなく、相手のことにも目を向けることにもなりました。また、授業の中で使った「心のものさし」の変化を通じて、自分自身と照らし合わせながら、考えを深めていました。



永野学級の学級活動は、「友達となかよくしよう ～えがおいっぱい学級にしよう～」という題材の授業でした。友達とのコミュニケーションの取り方を考えるために、にロールプレイを取り入れたことで、自分と同じ考えばかりではないことに気付き、同じ言葉でも言い方が違うと受け取り方も違って来るから気を付けないといけない…といったことを考えました。そして、自分自身を見直してめあてを立てました。その後の学級の様子を聞いたところ、やさしい言い方、伝え方をしようとする姿勢が見られるようになったそうです。



中島学級では、「自分のよさをのばそう」という学級活動の授業がありました。2学期の活動を振り返りながら、楽しかった思い出やがんばったことなどをみんなで確認し合いました。今回のポイントは、自分が気付いていないよさを見つけ、もっと伸ばせるようにする…ということでしたから、モデルとして学年の先生や私から中島先生のよいところを伝えました。子ども同士でよさを伝え合いましたが、笑顔があふれていました。最後に、キャリアパスポートに書いた内容を見直し、もっと伸ばしたい項目を書き込んでいきました。

